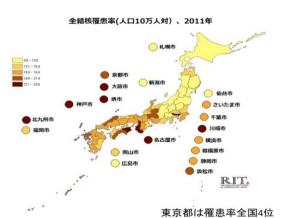
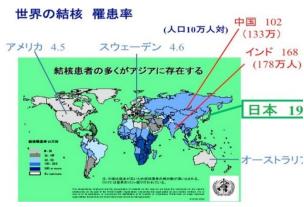


https://l-hospitalier.github.io

2015.11

BCG (<u>仏</u>: Bacille de Calmette et Guérin の略、カルメット・ゲラン桿菌)ウシ型結 核菌 (Mycobacterium bovis) の実験室培養を繰り返して作製された。 2015 年現在 唯一の結核ワクチン。 乳幼児の**結核性髄膜炎や粟粒結核の予防には有効**だが、成人 の肺結核に対する効果は50%程度? 日本では昭和26年、橋本龍伍厚相が箱根で「効 果のない BCG を国民に接種するわけにはいかない」と口走った、いわゆる箱根談話 に医学界が猛反発し、有効性の議論がないまま政治的に集団接種の継続が決定された いきさつがある。 米南部諸州と 1980 年の西ベンガルの調査では**肺結核の予防効果 は全くなかった**(CDC がアトランタにあるのは米国南部に多かった結核対策の名残、 他の医学関係施設はメリーランド州に集中)。70年の歴史を持つBCGの効果の調査 結果がこれほど極端に異なる理由は 1) BCG には標準株が存在しない、2)マイコバク テリウム属の細菌が住環境に多い国では、これら対し T 細胞免疫を獲得している成 **人が多く、BCG による γ インターフェロン産生が見られない**、などが考えられる。 BCG は結核の少ない国ではツベルクリン反応(マントゥー・テスト、Mantoux test) を陽性化し、結核の発見を遅らせるので、アメリカでは BCG は結核患者に定期的に 接触する医療従事者に限定。 BCG の無いアメリカの結核罹患率 (morbidity) は 3.1/10 万、BCG 接種率 98.5%の日本は 16/10 万(東京は 20/10 万、大阪あいりん地 区は 500/10 万、東北、北海道は 10/10 万程度)。 ロタウイルス 経口のロタリックス、 ロタテックなど。日本では任意接種が承認。WHO は乳幼児死亡を防ぐ強力な方法として推進。 <mark>ノロウイルス</mark> 2011 年の人体実験では 98 例でワクチン群は 37%、対照群 70%の発病率であ った。(武田、第一三共で開発中) <mark>水痘</mark> 水痘ワクチンが平成 26 年から 1,2 歳児に定期接種。 2006 年アメリカで 60 才以上の帯状疱疹予防ワクチンとして ZOSTAVAX が認可。日本でも 2003年に50才以上任意接種として承認。 麻疹 (measles)、流行性耳下腺炎 (mumps)、風 疹(rubella)の頭文字を取った MMR ワクチン。 日本では 1988~1993 年まで集団接種。 し かしムンプスワクチンによる無菌性髄膜炎発生が問題となり中止。 現在は個別接種。 2005 年 FDA は、麻疹・流行性耳下腺炎・風疹・水痘−帯状疱疹混合ワクチン MMRV (V は varicella-zoster の頭文字、日本未承認)を認可。 しかし 1998 年の MMRV と自閉症の関係に 言及した Lancet の捏造論文後、欧州で接種が激減。 <mark>髄膜炎菌ワクチン</mark>(流行性髄膜炎)、<mark>A</mark> <mark>型肝炎ワクチン:</mark>2015 年現在日本は未承認。 子宮頸癌に対する<mark>ヒト・パピローマウイルス</mark> <mark>ワクチン</mark>は副作用で厚生省が積極的勧奨を中止、社会問題となっている。





#14